



発行 / 西東京市
編集 / 企画部広報広聴課
〒188-8666
東京都西東京市南町5・6・13

市役所代表電話 / **0424-64-1311**
ホームページアドレス <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>
(携帯電話) <http://mobile.city.nishitokyo.lg.jp/>
(Lモード) Lメニューリストから検索できます。

西東京

市の人口と世帯数

(平成16年12月1日現在)

		前月比
人口	男	92,933人 (1,152人) 88増 (13増)
	女	94,725人 (1,477人) 66増 (14減)
	合計	187,658人 (2,629人) 154増 (1減)
世帯数		83,767世帯 (1,356世帯) 90増 (1増)

カッコ内は外国人登録人口(再掲)

今号の主な内容

2面 ミュージック パーティ・イン・西東京3rd



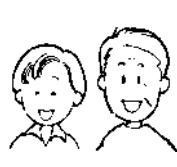
市内の中学生・高校生が企画運営するダンス・バンド等のコンサートを開催します。

3面 個人情報保護条例の検討結果



西東京市個人情報保護条例の改正についてのパブリックコメント(市民意見提出手続制度)の検討結果をお知らせします。

4面 あなたの地域の民生委員・児童委員・主任児童委員



民生委員・児童委員は、信頼できる相談相手です。一人で悩まず、どんなことでもご相談ください。

8面 年末・年始の市役所等の業務案内



市役所、図書館等の業務日程、ごみの収集日程等をお知らせします。

西東京市産農産物の

シンボルマーク(キャラクター)を募集します

キャッチフレーズは「市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです」に決定



援農ボランティア養成講座での実技講習

「農家と市民が育てる豊かな農業 西東京」をテーマに、市内で生産された身近な西東京市産の農産物全体をイメージさせるキャッチフレーズが決定しました。
キャッチフレーズは、「市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです」です。多くの方々の応募を頂きまして、ありがとうございました。
今回は、このキャッチフレーズにふさわしいシンボルマーク(キャラクター)を募集します。

市では、平成16年3月に策定した「西東京市農業振興計画」に基づき、都市農業の振興のための施策を展開しています。
今回シンボルマークを募集する農産物のブランド化のほか、今年度は次の事業を実施しています。

西東京市の農業振興施策

- 援農ボランティア養成事業 (財)東京都農林水産振興財団、JAあぐりと共催で、市内の農家の協力のもと、農作業を応援するボランティアの養成講座を実施しました。
- 農業体験農園の整備
市民と農家との触れ合いの中で、野菜の作り方など技術指導も受けられる新しい形態の農園「農業体験農園」について検討し、平成17年4月からの開設を予定しています。
- 農業体験農園の募集等については1月15日号の市報に、市民農園・家族農園の利用者募集については2月1日号の市報に掲載の予定です。

西東京市の商店街振興施策

市では、平成15年3月に「西東京市商店街振興プラン」を策定し、そのプランに沿って、21世紀商業リーダーの育成(人づくり)・広域型商店街活動の推進(組織づくり)・商業者と生活者による商店街まちづくりの推進(仕組みづくり)を重点プログラムに位置づけ、地域経済の活性化施策の具体化を図っています。
現在、このプランに基づき産業振興課が商工会や商店街などと連携しながら実行している施策として、主に次のことがあります。

- ▶ 商店街活性化推進事業
商店街が主催する夏の盆踊りやサマーフェスティバル・歳末のイルミネーション・シャッターアートコンクール・地蔵まつりなど商店街のイベントに対して一定の補助をしています。
- ▶ 商店街・まちづくり懇談会
商店街をどう発展させていくか商業者と消費者が意見交換する場を提供しています。

▶ 街なかサロン
商店街の中に、来街者が気軽に立ち寄れる休憩所を設け、商店街の情報発信などに役立つものです。



谷戸商店街(ひばりヶ丘駅南口)では、谷戸新道沿いに「谷戸よりあいい」をオープンしています(写真)。だれでも気軽に立ち寄れる雰囲気、テーブルや給茶設備、貸出し傘、トイレなども無料で利用できます。簡易な作品展示会などのイベントも行われています。
さらに伏見通り商店会(東伏見坂上)でも、現在企画中です。
市では、今後も商工会や商店街と連携し、商店街の活性化を図っていきます。

産業振興課(田無庁舎)内線1441、1442

